

## HeartCore コードスニペット用メタ情報オプション機能 マニュアル August 2019 Ver1.0



改訂履歴

	改訂日	改訂内容
初版	2019年8月	新規作成

# HeartCore

## 目次

1	. 本文	て書の目的	4 -
	1.1.	目的	4 -
2	. 機能	概要	4 -
	2.1.	コードスニペット用メタ情報オプション機能について	4 -
	2.2.	前提条件	4 -
3		-ドスニペット作成	5 -
	3.1.	コンテンツタイプ(ページの種類)	6 -
	3.1.1.	記事	7 -
	3.1.2.	連絡先	8 -
	3.1.3.	イベント	9 -
	3.1.4.	求人情報	11 -
	3.1.5.	商品	13 -
	3.1.6.	Q/A ページ	15 -
	3.1.7.	レビュー	16 -
	3.1.8.	動画	17 -
	3.2.	コード表示	18 -
	3.3.	コード編集	18 -
	3.3.1.	カスタムでのコードスニペット作成	18 -
	3.3.2.	タイプ選択状態でのコード編集	19 -
	3.4.	検証	19 -
	3.5.	ヘルプ	21 -
	3.6.	コンテンツの保存と実際に追加されたコードの確認	21 -
4	. @関	割数の利用について	22 -
	4.1.	入力フィールドでの利用	22 -
	4.2.	コードスニペット用の@関数とオプション	23 -
5	. 注意	事項	24 -
	5.1.	利用環境について	24 -
	5.2.	入力値の自動フォーマット変換について	24 -
	5.3.	コードの直接編集について	25 -
	5.4.	各入力フィールドにて入力可能なプロパティについて	25 -



#### 1. 本文書の目的

1.1. 目的

本文書は、HeartCore 標準機能として v11.1 より追加された「コードスニペット用メタ情報オプション機能」を説明した文書となります。

本文書を参照することで、該当機能の一通りの操作ができることを目的としております。

#### 2. 機能概要

2.1. コードスニペット用メタ情報オプション機能について

本機能は、schema.org(構造化マークアップ規格)に対応した構造化データの作成を支援する機能 となります。Google がサポートしているコンテンツタイプ(ページの種類)に対応した構造化マ ークアップを行うことで、SEO 対策に効果的なコードス二ペットの作成を実現します。

コードスニペットの作成は、コンテンツ編集ページのメタ情報タブにて、構造化マークアップに必要 なプロパティを設定することで可能となっております。入力された値を利用し、JSON-LD 形式のコ ードスニペットが生成されます。

※HeartCore における機能説明となりますので、schema.org の仕様そのものに関する詳細の解説や、コードス二ペットについての説明は記載いたしておりません。

なお、本文書にて記載しております、各タイプ、プロパティ、必須/推奨などの情報につきまして は、2019 年 8 月時点の情報となります。

2.2. 前提条件

本機能は、メタ情報を利用しますので、以下の設定が必須となります。 ※全体管理者のみ設定が可能です

設定>機能設定>メタ情報

●メタ情報を有効にします。

トップ 閲覧 & 編集			火夕	情報の設定			admin 🌡	ログアウト	ヘルプ エ 〓
HeartCore CMS	📥 ワークスペース	🛼 階層構造	ションテンツ	メディア	📄 <b>E</b> Dマース	= ====================================	<u>ユー</u> ザ	解析	🚫 設定
		:します。 <b>報オブション</b> に対し、定義済みの <b>前</b>	メタ情報オブションを管 <mark>タイプ</mark>	序理者が選択できるよ プロパテ ▼	<ul> <li>メタ情報を無効/</li> <li>うになります。</li> <li>イ 説明</li> </ul>	にします。			Comments



## 3. コードスニペット作成

コードスニペットの作成は、コンテンツ編集ページのメタ情報タブにて設定が可能です。

変更履歴	プライマリ コンテンツ	プレゼン テーション	追加 コンテンツ	メタ情報	アドバンス スクリプト	コンテンツ カテゴリ	コンテンツ バージョン	アクセス制限	関連 コンテンツ	コンテンツ の依存関係	
メタ情報 <sup>メタ情報を 作成者</sup>	メタ情報 メタ情報を登録することで、検索エンジンに対する最適化を行うことができます。 作成者										
メタディ	メタディスクリプション										
キーワ・	ード										
- 新規 - ▼	- 新規 - ▼										
<b>コンテン</b> コンテンツ	<b>ツスキー</b> タイプ: 記事	र (	D •	2 コード表	示	3 検証	<ul><li>(4)</li><li>ヘル:</li></ul>	Ĵ			
headlir	<b>1e</b> (見出し)										
descri	<b>ption</b> (説明)				5						
mainE	mainEntityOfPage(正規URL)										
- なし -					▼ 選択	5					

No.	メニュー/ボタン名	説明
$\bigcirc$	コンテンツタイプ	コンテンツタイプ(ページの種類)を選択します
		選択されたタイプに応じて⑤の入力フィールドが切り替わります
		→ 「3.1 コンテンツタイプ(ページの種類)」参照
2	コード表示	生成された JSON-LD 形式のコードが表示されます
		→「3.2 コード表示)」参照
3	検証	「Google 構造化データテストツール」が表示されます
		コードス二ペットの検証にご利用ください
		→「3.4 検証」参照
4	ヘルプ	「Schema.org Web サイト」が表示されます
		→ 「3.5 ヘルプ」 参照
5	入力フィールド	コンテンツタイプに応じた入力フィールドが表示されます
		→ 「3.1 コンテンツタイプ(ページの種類)」参照



#### 3.1. コンテンツタイプ (ページの種類)

コードスニペットを作成するコンテンツのコンテンツタイプ(ページの種類)を選択します。

コンテンツス	キーマ	
コンテンツタイプ:	- なし- <b>▼</b>	コード表示 検証 ヘルプ
	- なし -	
メタ情報の説明	記事 連絡先	
メタタグ	イベント	
Webページへメタ	商品	とむときに使用します。
これらの情報は、	Q&A ページ	タ情報を使用するシステムで参照されます。
追加できる項目に	レビュー	者です。
	動画	
詳しくはHeartCor	- カスタム -	ステムユーザガイドをご覧ください。

選択されたタイプに応じて、構造化マークアップに必要なプロパティの入力フィールドが表示されま す。選択可能なタイプは以下となります。

タイプ	@type
記事	Article
連絡先	Organization
イベント	Event
求人情報	JobPosting
商品	Product
Q/Aページ	QAPage
レビュー	Review
動画	VideoObject

コンテンツタイプ:-なし-

生成されているコードスニペットがある状態で選択すると、表示内容がリセットされます。 リセット された状態で「保存」すると、コードスニペットは削除されます。

コンテンツタイプ:-カスタム-

上記表以外のタイプを指定したい場合に選択します。コードの直接入力が可能です。 利用方法については、「3.3. コード編集」をご参照ください。



## 3.1.1. 記事

「記事」を選択した際の入力フィード

コンテンツスキーマ	
コンテンツタイプ:記事 マ コード表示	検証 ヘルプ
headline(見出し)	
description/谜眼)	
mainEntityOfPage(正規URL)	
- なし- V 選択	
image(画像)	
- なし- ▼ 選択	
- なし- <b>マレー</b> 選択	
- なし- ▼ 選択	
datePublished(公開日時)	dateModified(変更日時)
YYYY-MM-DD hh:mm:ss	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
author(著者)	author.name(著者名)
Organisation(組織) ▼	
publisher.name(パブリッシャー名)	publisher.logo.url(パブリッシャーロゴ)
	- なし -

プロパティ名	必須/ 推奨	説明
headline(見出し)	必須	記事の見出し
description(説明)	推奨	記事の簡単な説明
mainEntityOfPage(正規 URL)	推奨	記事ページの正規 URL
image(画像)	必須	記事を代表する画像
datePublished(公開日時)	必須	記事が最初に公開された日時
dateModified(変更日時)	推奨	記事が最近変更された日時
author(著者)	必須	記事の著者
		・Organization(組織)
		・Person(個人)
		author.name を入力するとコードに追加されます
author.name(著者名)	必須	記事の著者の名前
publisher.name(パブリッシャー名)	必須	記事の発行者名
publisher.logo.url(パブリッシャーロゴ)	必須	記事の発行者のロゴ



3.1.2. 連絡先

「連絡先」を選択した際の入力フィード

コンテンツスキーマ	
コンテンツタイプ:連絡先 ▼ コード表示 検証	ヘルプ
name(連絡先名)	logo(□⊐ĭ)
	- なし- × 選択
uri(URL)	
contactType(連絡先タイプ)	telephone(電話番号)
Υ	
areaServed(提供エリア)	availableLanguage(対応可能言語)

プロパティ名	必須/ 推奨	説明
name(連絡先名)	_	連絡先の名前
	—	連絡先のロゴ
url(URL)	—	連絡先の URL
contactType(連絡先タイプ)	必須	連絡先タイプ
		・customer support(カスタマーサポート)
		・technical support(テクニカルサポート)
		・billing support(請求サポート)
		・bill payment(支払し)
		・sales(セールス)
		・reservations(予約)
		・credit card support(クレジットカードサポート)
		・emergency(緊急)
		・package tracking(小包追跡)
		・baggage tracking(手荷物追跡)
		・roadside assistance(ロードサービス)
telephone(電話番号)	必須	国際電話番号
		例:+81-3-1234-5678
areaServed(提供エリア)	推奨	サービス対象地域(国コード)
		例 : JP/US/JP,US (複数の場合、半角カンマ区
		切り)
availableLanguage(対応可能言語)	推奨	対応言語の詳細(言語は一般的な英語名)
		例:Japanese/English/Japanese,English
		(複数の場合カンマ区切り)



## 3.1.3. イベント

「イベント」を選択した際の入力フィード

コンテンツスキーマ			
コンテンツタイプ: イベント	表示	検証	ヘルプ
name(イベント名)			
description(證明)			
performer.name(出演者)			
location.name(会場)			
location street&ddress/注诉詳細)			
(Entering)			
location.addressLocality(市区町村)			
location.postalCode(郵便番号)			
location.addressRegion(地方)			
location.addressCountry( )			
startDate(開始日時)			and Date (% 7 E PR)
YYYY-MM-DD hh:mm:ss			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
	offord pri	00 (m +h)	
oners.priceCurrency(通貨)	oners.pri	Ce(1曲格)	OTTERS.ValiuFrom(価格週用開始日)
ee			
offers.availability(在庫状況)			offers.url(URL)
•			- なし- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
image(画像)			
- なし-	▼ 選折	2	
- / 4 U -	<ul> <li>▼ 選扔</li> <li>※ 深切</li> </ul>	2	
	·		



	プロパティ名	必須/ 推奨	説明
nar	ne(イベント名)	必須	イベントの名前
des	cription(説明)	推奨	イベントの説明
per	former.name(出演者)	推奨	出演者の名前
loca	ation.name(会場)	必須	場所の名前
loca	ation.address	必須	イベント会場の詳しい住所
			location.name と、※のいずれかを入力するとコ
			ードに追加されます
]	location.streetAddress(住所詳細)	*	住所詳細
	location.addressLocality(市区町村)	*	市区町村
]	location.postalCode(郵便番号)	*	郵便番号
]	location.addressRegion(地方)	*	地方
]	location.addressCountry(国)	*	围
sta	rtDate(開始日時)	必須	イベントの開始日時
endDate(終了日時)		推奨	イベントの終了日時
offers.priceCurrency(通貨)		推奨	通貨コード
offers.price(価格)		推奨	チケットの価格
offers.validFrom(価格適用開始日)		推奨	チケットが発売される日時
offe	ers.availability(在庫状況)	推奨	チケットの状態
			・InStock(在庫あり)
			・InStoreOnly(店頭のみ)
			・OnlineOnly(オンラインのみ)
			・LimitedAvailability(限定)
			・PreOrder(先行予約)
			・PreSale(先行販売)
			・OutOfStock(在庫切れ)
			・SoldOut(売り切れ)
			・Discontinued(販売終了)
offe	ers.url(URL)	推奨	チケットを購入できるページの URL
ima	age(画像)	推奨	イベントに関連する画像



3.1.4. 求人情報

「求人情報」を選択した際の入力フィード

コンテンツスキーマ						
コンテンツタイプ: 求人情報	V	コード表示	検証	ヘルプ		
title(職務)				identifier(識別子)		
description(説明)						
					_	
hiringOrganization.nar	<b>ne</b> (採用企業)			hiringOrganizati	on.logo(□⊐ĭ)	
				- なし-	▼選択	
JobLocation.name(勤務出	也)			hiringOrganizati	on.sameAs(ウェブサイトURL)	
ichl costion streatAdd		<b>n</b> )				
JODLOCATION.StreetAdd	「ピンン(1土川市井村	"				
			1			
jobLocation.addressLo	ocality(市区	5.111				
jobLocation.postalCoc	<b> e</b> (郵便番号)					
jobLocation.addressR	egion(地方)					
jobLocation.addressC	ountry(国)					
JobLocation lype(勤務タイ	'プ)					
applicantl ocationReg	lirements	> 首老能力地亜州>				
City - comete	State (****	心劳有,加江地安叶)		Country		
City(而区则利)	State(都道	府乐)		Country (国)		
employmentType/mm	<b>倉</b> 長)					
t the second sec	<i>ies)</i>					
baseSalary(基本給)						
currency(通貨)	minValue	e-maxValue(給	与幅)	unitText(単位)		
		-	]	·····		
datePosted(掲載日時)				validThrough(有效	期限)	
YYYY-MM-DD hh:mm:ss				YYYY-MM-DD hh:mm:ss		



プロパティ名	必須/ 推奨	説明
title(職務)	必須	職務の名称
identifier(識別子)	推奨	求人に関する採用側組織の一意の識別子
description(説明)	必須	求人の詳細説明
hiringOrganization	必須	求人を提供している組織
		※1のいずれかを入力するとコードに追加されます
hiringOrganization.name(採用企業)	₩1	採用する企業名
hiringOrganization.logo(ロゴ)	≫1	採用する企業のロゴ
hiringOrganization.sameAs(ウェブ サイトURL)	₩1	採用する企業のウェブサイト URL
iohLocation	必須	オフィスや作業現場など、従業員の職場となる特定
<i>jo</i>		の場所
		※2のいずれかを入力するとコードに追加されます
jobLocation.name(勤務地)	₩2	勤務地名
jobLocation.streetAddress(住所詳細)	₩2	住所詳細
jobLocation.addressLocality(市区町	₩2	市区町村
村)		
jobLocation.postalCode(郵便番号)	₩2	郵便番号
jobLocation.addressRegion(地方)	₩2	地方
jobLocation.addressCountry(国)	₩2	国
jobLocationType(勤務タイプ)	推奨	勤務タイプ
		・TELECOMMUTE(リモートワーク)
applicantLocationRequirements(応募者	推奨	従業員がリモートワークを行うために所在する必
所在地要件)		要のある地域
		※3のいずれかを入力するとコードに追加されます
City(市区町村)	₩3	市区町村
State(都道府県)	₩3	都道府県
Country(国)	₩3	国
employmentType(雇用形態)	推奨	雇用形態
		・FULL_TIME(正社員)
		・PART_TIME(パートタイム)
		・CONTRACTOR(契約)
		・TEMPORARY(派遣)
		・INTERN(インターン)
		・VOLUNTEER(ボランティア)
		・PER_DIEM(日雇い)
		・OTHER(その他)



	プロパティ名	必須/ 推奨	説明
baseSalary(基本給)		推奨	基本給
			※4の全てを入力するとコードに追加されます
	currency(通貨)	₩4	通貨コード
	minValue-maxValue(給与幅)	₩4	給与幅
	unitText(単位)	₩4	単位
			・HOUR (時給)
			・DAY(日給)
			・WEEK(週給)
			・MONTH(月給)
			・YEAR(年給)
datePosted(掲載日時)		必須	求人情報を掲載した日時
validThrough(有効期限)		必須	求人情報が期限切れになる日時

### 3.1.5. 商品

「商品」を選択した際の入力フィード

コンテンツスキーマ			
コンテンツタイプ: 商品	▼ □-ド	表示 検証 ヘル	プ
name(商品名)		<b>brand</b> (ブ	ランド)
description(説明)			
• • • •			
mage(画像)			
- なし -		▼選択	
- なし -		▼ 選択	
- なし -		▼ 選択	
SKU		MPN	EAN / UPC / ISBN / GTIN
priceCurrency(通貨)	price(価格)	priceValidUntil(価格適用終	了日)
		YYYY-MM-DD hh:mm:ss	
availability(在庫状況)		url(URL)	
•		- <del>a</del> L -	▼選択



プロパティ名	必須/ 推奨	説明
name(商品名)	必須	商品名
brand(ブランド)	推奨	商品のブランド
description(説明)	推奨	商品の説明
image(画像)	必須	商品の画像
SKU	推奨	商品の販売者固有の識別子
MPN	推奨	商品のグローバル識別子
EAN / UPC / ISBN / GTIN	推奨	商品のグローバル識別子
priceCurrency(通貨)		通貨コード
price(価格)	—	価格
priceValidUntil(価格適用終了日)		価格適用終了日
availability(在庫状況)	—	在庫状況
		・InStock(在庫あり)
		・InStoreOnly(店頭のみ)
		・OnlineOnly(オンラインのみ)
		・LimitedAvailability(限定)
		・PreOrder(先行予約)
		・PreSale(先行販売)
		・OutOfStock(在庫切れ)
		・SoldOut(売り切れ)
		・Discontinued(販売終了)
url(URL)	—	商品の URL



3.1.6. Q/Aページ

「Q/Aページ」を選択した際の入力フィールド

コンテンツスキーマ					
コンテンツタイプ: Q&A ページ マード表示	検証 ヘルプ				
name(質問)					
taut					
lexl(內容)					
author(質問者)					
dateCreated(作成日)	upvoteCount(投票数)				
YYYY-MM-DD hh:mm:ss					
acconted Anower toxt					
acceptedAnswer.text(回答)					
acceptedAnswer.url(URL)					
- なし- <b>v</b>	選択				
acceptedAnswer.author(回答者)					
accepter inclusion (BBB)					
acceptedAnswer.dateCreated(作成日)	CCEptedAnswer.uateCreated(作成日) aCCeptedAnswer.upvoteCount(投票数)				
YYYY-MM-DD hh:mm:ss					

プロパティ名	必須/ 推奨	説明
name(質問)	必須	短い形式の質問文
text(内容)	推奨	長い形式の質問文
author(質問者)	推奨	質問者
dateCreated(作成日)	推奨	質問が作成された日時
upvoteCount(投票数)	推奨	質問に対する投票の総数
acceptedAnswer	必須	イベント会場の詳しい住所
		acceptedAnswer.text を入力するとコードに追加
		されます
acceptedAnswer.text(回答)	必須	回答文
acceptedAnswer.url(URL)	推奨	回答に直接リンクしている URL
acceptedAnswer.author(回答者)	推奨	回答者
acceptedAnswer.dateCreated(作成日)	推奨	回答が作成された日時
acceptedAnswer.upvoteCount(投票数)	推奨	回答に対する投票の総数



3.1.7. レビュー

「レビュー」を選択した際の入力フィールド

コンテンツスキーマ				
コンテンツタイプ: レビュー 🔹	コード表示 検証	ヘルプ		
itemReviewed.name(レビュー対象の商品	/サービス)	itemReviewed.type(タイプ)		
itemReviewed.url(URL)		itemReviewed.image(画像)		
		- なL -	▼選択	
name(タイトル)				
reviewBody(本文)				
author(投稿者)		author.name(投稿者名)		
Organization(組織) ▼				
ratingValue(評価数値)		worstRating-bestRating(評価数値範囲)		
datePublished(投稿日)				
YYYY-MM-DD hh:mm:ss				

プロパティ名	必須/ 推奨	
itemReviewed	必須	レビュー対象のアイテム
		※のいずれかを入力するとコードに追加されます
itemReviewed.name(レビュー対象の	*	レビュー対象の商品/サービス名
商品/サービス)		
itemReviewed.type(タイプ)	*	レビュー対象のタイプ
		任意のタイプを入力、もしくは以下のタイプより
		選択
		・Orgenization(組織)
		・Person(個人)
		・Product(商品)
		・Thing(アイテム)
itemReviewed.url(URL)	*	レビューに直接リンクしている URL
itemReviewed.image(画像)	*	レビューに関連する画像
name(タイトル)		レビューのタイトル
reviewBody(本文)	—	レビューの本文
author(投稿者)	必須	レビューの投稿者
		・Organization(組織)
		・Person(個人)
		author.name を入力するとコードに追加されます



プロパティ名	必須/ 推奨	説明
author.name(投稿者名)	必須	レビュー投稿者の名前
ratingValue(評価数値)	必須	レビューの評価数値
worstRating-bestRating(評価数値範囲)	推奨	レビューの評価数値範囲
datePublished(投稿日)	推奨	レビューが投稿された日時

## 3.1.8. 動画

「動画」を選択した際の入力フィールド

コンテンツスキーマ					
コンテンツタイプ: 動画  マ コード表示	検証	ヘルプ			
name(タイトル)					
description(説明)					
contentUrl(動画ページコンテンツURL)		<b>embedUrl</b> (動画ファイル埋め込みURL)			
- なし -	▼選択	-なし- * 選択			
thumbnailUrl(サムネイル動画)					
- なし-	▼選択				
- なし-	▼選択				
- なし -	▼選択				
uploadDate(アップロード日) expires(有効期限)					
YYYY-MM-DD hh:mm:ss		YYYY-MM-DD hh:mm:ss			
duration(再生時間)		interactionCount(再生回数)			
hh:mm:ss					

プロパティ名	必須/ 推奨	説明
name(タイトル)	必須	動画のタイトル
description(説明)	必須	動画の説明
contentUrl(動画ページコンテンツ URL)	推奨	動画の URL
embedUrl(動画ファイル埋め込み URL)	推奨	動画の URL
thumbnailUrl(サムネイル動画)	必須	動画のサムネイル画像
uploadDate(アップロード日)	必須	動画が公開された日時
expires(有効期限)	推奨	動画が使用できなくなる日時
duration(再生時間)	推奨	動画の再生時間
interactionCount(再生回数)	推奨	動画が再生された回数



3.2. コード表示

各入力フィールドにて入力された値を利用し、JSON-LD 形式のコードス二ペットが生成されます。 生成されたコードを確認する場合、「コード表示」ボタンをクリックすると、コードが表示されます。

以下は、タイプ「記事」のコード表示例となります。

コンテンツタイプ: 記事 🔹 🔻	コード表示	検証
<pre><script type="application/ld+json"></script></pre>		

3.3. コード編集

3.3.1. カスタムでのコードスニペット作成

選択可能なタイプ以外のタイプにて、コードスニペットを作成したい場合は、タイプ「-カスタム -」を選択してください。直接コードを記載することが可能です。

コンテンツタイプ: - カスタム - 🔹 🔻	コード表示	検証	ヘルプ



## **HeartC**ore

3.3.2. タイプ選択状態でのコード編集

選択したタイプにて、入力フィールドに無いプロパティを設定したい場合、タイプを「-カスタム -」へ変更し、コードを直接記載してください。

ー旦、該当タイプにて、必要なプロパティを入力フィールドより入力後、タイプを「-カスタム-」 へ切り替えることで、入力フィールドより入力した値を利用した、コード編集が可能となります。

【注意事項】

- ・タイプが選択された状態で、「コード編集」より直接コードを編集する場合、入力フィールドからの値の変更は行わないようにしてください。入力フィールドの値を変更すると、入力フィールドにて入力された値を利用し、コードが再生成されますので、直接編集したコードは破棄されます。
- ・タイプが選択された状態で、「コード編集」より直接コードを編集した場合、認識されない(入力 フィールドに無い)プロパティや値を入力して「保存」すると、再度コンテンツ編集ページを開く と、タイプが「-カスタム-」に切り替わります。
- ・タイプ「-カスタム-」にて「保存」しても、再度コンテンツ編集ページを開くと、タイプが切り替わって表示される場合があります。(選択可能なタイプ、かつプロパティが入力フィールドの項目と一致する場合)
- ・タイプ「-カスタム-」選択状態で、タイプを再選択すると以下のような警告メッセージが表示され、「OK」をクリックすると、選択したタイプの入力フィールドが表示されます。



コードに記載されている@typeに該当するタイプを選択した場合

入力フィールドで設定可能なプロパティの場合は、入力フィールドへ反映されます。

入力フィールドで設定出来ないプロパティの場合は、削除されます。

コードに記載されている@typeに該当するタイプ以外を選択した場合

新規の入力フィールドとなります。

3.4. 検証

コードスニペットのコードが正しく記述できているか、どの項目が設定されているかなどの確認は、 以下の「検証」ボタンより「Google 構造化データテストツール」を利用して行います。

コンテンツスキーマ				
コンテンツタイプ: 記事	▼	コード表示	検証	ヘルプ

「検証」ボタンをクリックすると、「Google 構造化データテストツール」が表示されます。 「コード表示」にて表示されたコードをコピーし、「Google 構造化データテストツール」 ヘペースト し、テストを実行してください。



※Googleの構造化データテストツールはデータの自動送信に対応していないため、手動でコピー& ペーストする必要があります。

※外部サイトへアクセス可能な環境が必要です。

https://search.google.com/structured-data/testing-tool/

Google 構造化データテストツール			
S	URL を取得 コード スニペット	しいテスト	
1	<pre></pre>		

テストを実行すると、結果が表示されます。エラーや警告が検出された場合は、入力フィールドに 入力した値や、コードをご確認ください。

	1 2 3 4	<pre><script type="application/ld+json"> {</th><th>Articl</th><th>9</th><th>All (1) 👻</th></tr><tr><th></th><th><ul>     <li>etype://wtocle.</li>     <li>"headline": "記事の見出し".</li>     <li>"description": "記事の見出し".</li>     <li>"description": "記事の見明".</li>     <li>"datePublished": "2019-09-01T01:00:00.0002".</li>     <li>"dateModified": "2019-09-01T01:00:00.0002".</li> </ul></th><th>Art</th><th>icle</th><th>2件のエラー 2件の警告 へ</th></tr><tr><th></th><th>9 10</th><th>"author": { "@type": "Organization".</th><th></th><th>@type</th><th>Article</th></tr><tr><th></th><th>11</th><th>"name": "記事の著者の名前"</th><th></th><th>headline</th><th>記事の見出し</th></tr><tr><th></th><th>12</th><th>), "nublisher": {</th><th></th><th>description</th><th>記事の説明</th></tr><tr><th>8</th><th>14</th><th>"@type": "Organization",</th><th></th><th>datePublished</th><th>2019-09-01T01:00:00+00:00</th></tr><tr><th></th><th>15</th><th>"name": "記事のパブリッシャー名"</th><th></th><th>dateModified</th><th>2019-09-01T01:00:00+00:00</th></tr><tr><th></th><th>10</th><th>}</th><th colspan=2>author</th><th></th></tr><tr><th></th><th colspan=2>18 </script></pre>	@type name		Organization
		記事の著者の名前			
				publisher	
				@type	Organization
				name	記事のパブリッシャー名
			8	logo	「logo」フィールドの値は必須です。
			8	image	「image」フィールドの値は必須です。
				- Income	「image」は推奨フィールドです。値が
		-	A mage	あれば指定してください。	
					「mainEntityOfPage」は推奨フィール
					ドです。値があれば指定してください。



3.5. ヘルプ

選択したコンテンツタイプとそのプロパティに関する情報については、「ヘルプ」よりご確認ください。Schema.org Web サイト(英語)が表示されます。



※外部サイトへアクセス可能な環境が必要です。

https://schema.org/

3.6. コンテンツの保存と実際に追加されたコードの確認

入力したコードスニペットを保存する場合、コンテンツ編集ページの「保存」、または「保存して閉じる」にて保存してください。

実際に追加されたコードを確認する場合は、コンテンツ編集ページの「プレビュー」ボタンや、コンテンツー覧画面からプレビューを行い、HTML ソースをご確認ください。

以下は、タイプ「記事」にて作成したコンテンツの HTML ソースの例となります。 <head>~</head> 内に自動で挿入されます。





#### 4. @関数の利用について

4.1. 入力フィールドでの利用

入力フィールドにて、@関数を記載することも可能です。 以下は、タイプ「記事」の例となります。

コンテンツスキーマ	
コンテンツタイプ: 記事 マ コード表示	床 検証 ヘルプ
headline(見出し)	
@@@include:database=Article:id=1:Headline@@@	
description(説明)	
@@@extension:hello(Sample <u>Contetnt</u> Schema)@@@	
@@@include:database=Article:id=1:Description@@@	

「コード表示」では、@関数はそのまま表示されます。

コンテンツタイプ: 記事 🔹 🔻	コード表示	検証	ヘルプ
<script type="application/ld+ison"> {</td><th></th><td></td><td></td></tr><tr><td colspan=3><pre>"headline": "@@@include:database=Article:id=1:Headline@@@",</td></tr><tr><td>} </script>			

@関数が変換されていない状態のコードにて「検証」を実施すると、正確な検証結果となりません。 変換後のコードで検証を行いたい場合は、「プレビュー」より実際のソースコードにて検証を行って ください。

※@関数をご利用いただけないフィールドもございます。

- ・ページ/イメージ/ファイルコンテンツなどのコンテンツ選択フィールド
- ・選択オプションからの選択フィールド
- ・入力フィールドの文字数制限を超える場合



4.2. コードスニペット用の@関数とオプション

コードスニペットは、自動でウェブサイトページに非表示ヘッダーとして含まれます。

プライマリコンテンツやその他の箇所にて利用したい場合、以下の@関数やオプションを利用することで可能となります。

@関数	説明
@@@contentschema@@@	記載したコンテンツにて設定中のコードスニ
	ペットが出力されます
@@@include:ID.contentschema@@@	指定した ID のコードスニペットが出力されま
	す
	ID:コンテンツ ID
@@@list:LIST:entry=123@@@	条件にヒットするコンテンツのコードスニペ
	ットが出力されます
エントリーページ(ID=123)	LIST : list の条件
@@@contentschema@@@	

include 関数や list 関数に関する詳細については、『ウェブサイト開発者ガイド』、『関数リファレン スガイド』をご参照ください。



#### 5. 注意事項

- 5.1. 利用環境について
- 「検証」「ヘルプ」をご利用いただく際は、外部サイトへアクセス可能な環境が必要です。
   検証 : https://search.google.com/structured-data/testing-tool/
   ヘルプ: https://schema.org/

5.2. 入力値の自動フォーマット変換について

・日時指定の入力フィールドでは、YYYY-MM-DD hh:mm:ss 形式の場合、自動で ISO8601 形式へ フォーマット変換された値にてコードへ反映されます。

YYYY-MM-DDThh:mm:ss.000Z (UTC)

(例) 2019-10-01 10:00:00 ⇒ 2019-10-01T01:00:00.000Z

※日時指定の入力フィールドでは、以下の形式での入力を想定しております。 YYYY/YYYYMM/YYYYMM-DD/YYYY-MM-DD hh:mm/YYYY-MM-DD hh:mm:ss 「YYYY-MM-DD hh:mm:ss」以外は、上記形式にてコードへ反映されます。

その他の形式で入力された場合、入力値がコードへ反映されます。 なお、上記形式の一部(例えば「YYYY-MM-」など)の文字列にて、「コード編集」より 直接コードを編集し「保存」すると、再度コンテンツ編集ページを開くと、タイプが 「-カスタム-」に切り替わります。

・継続時間指定の入力フォームでは、hh:mm:ss または hh:mm 形式の場合、自動で ISO8601 形式 ヘフォーマット変換された値にてコードへ反映されます。

PT[n]H[n]M[n]S

(例) 12:34:56  $\Rightarrow$  PT12H34M56S 12:34  $\Rightarrow$  PT12H34M00S

※継続時間指定の入力フィールドでは、以下の形式での入力を想定しております。 hh:mm:ss/hh:mm

その他の形式で入力された場合、入力値がコードへ反映されます。 なお、上記形式の一部(例えば「hh:mm:」など)の文字列にて、「コード編集」より 直接コードを編集し「保存」すると、再度コンテンツ編集ページを開くと、タイプが 「-カスタム-」に切り替わります。



#### 5.3. コードの直接編集について

- ・タイプが選択された状態で、「コード編集」より直接コードを編集する場合、入力フィールドからの値の変更は行わないようにしてください。入力フィールドの値を変更すると、入力フィールドにて入力された値を利用し、コードが再生成されますので、直接編集したコードは破棄されます。
- ・タイプが選択された状態で、「コード編集」より直接コードを編集した場合、認識されない(入力 フィールドに無い)プロパティや値を入力して「保存」すると、再度コンテンツ編集ページを開く と、タイプが「-カスタム-」に切り替わります。
- ・タイプ「-カスタム-」にて「保存」しても、再度コンテンツ編集ページを開くと、タイプが切り替わって表示される場合があります。(選択可能なタイプ、かつプロパティが入力フィールドの項目と一致する場合)

5.4. 各入力フィールドにて入力可能なプロパティについて 各入力フィールドにて入力可能なプロパティについては、2019年8月時点のものとなります。 予告なく、追加/変更/削除される場合がございます。

以 上